

令和5年度にご寄附いただいた皆さまへお送りしています。

令和5年度宿毛市ふるさと寄附金活用状況報告書

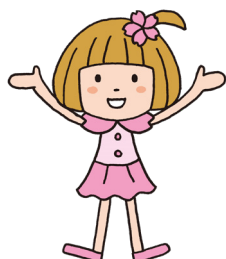
のべ72,928件

総額6億9,500万7,500円

おかげさまで、全国の皆さまからたくさんのご声援をいただいております。

令和5年度にご寄附をいただいた皆さまに活用状況をご報告させていただきます。

(令和6年3月末現在)



未来を担うひとづくり事業	33,267件	3億1,385万6,000円
豊かな文化とからだを育むまちづくり事業	4,363件	3,835万3,300円
みどりと自然あふれるまちづくり事業	13,503件	1億3,166万7,100円
活力のあるまちづくり事業	4,556件	4,484万4,200円
市長が必要と認める事業（お任せ事業）	17,239件	1億6,628万6,900円

活用事業

令和5年度は、合計4億2,552万7,000円を様々な事業に活用させていただきました。（いただいた寄附金は、その用途ごとに基金に積み立て、必要な事業に取り崩して活用しています。）

ヘルメット配布事業

小学生になると自転車に乗る機会も増えるため、宿毛市内の保育園・幼稚園の年長組（新小学1年生）にヘルメットの無償配布をしました。

ヘルメットを手渡すとともに、正しいヘルメットのかぶり方の指導や安全講習等を実施し、自転車の安全な利用についても学習しました。

宿毛市では、人と自然にやさしいまちづくりを目指し、「自転車を活用したまちづくり」に取り組んでいます。



桜の里推進事業

多くの方々に桜を楽しんでいただくため、大島桜公園内の遊歩道の草刈りや、間伐作業等を実施しました。

市民が郷土に愛着や誇りを持てるよう、また「桜の里すくも」を全国にPRできるよう、保全活動を行っています。



産業祭

一次製品の販売、地元製品を使用したグルメの販売、地元でつくられた製品の展示や企業活動の紹介など、宿毛市の一次産業から三次産業をPRするにぎやかなイベントです。

令和5年度は雨の中の開催となりましたが、子どもから高齢者まで多くの方にご来場いただき、地域産業の活性化にも繋がっています。



生きがい大学

市内在住の60歳以上の方を対象に、知識と教養を高め生きがいと健康づくりを推進することを目的とし、年6回の生きがい大学を開催しました。

参加者が笑顔で体も心も元気になるように、健康運動や笑いの話等で楽しみ、貴重な学びの場や交流の場となっています。



ご寄附いただいた皆さまへ

昨年度は、高知県宿毛市に心温まるご寄附を賜り、誠にありがとうございます。市民を代表いたしまして、心より御礼申し上げます。お預かりしました寄附金は、皆さまのお気持ちにお応えできるよう、大切に活用させていただきます。

四国の西南端に位置する宿毛市は、温暖な気候と「海・山・川・島」が揃う、自然豊かなまちです。約1,000種もの魚が生息し、「魚のゆりかご」「天然の養殖場」とも称される宿毛湾で獲れる魚は絶品で、ブリ・タイを中心とした養殖業が盛んです。農林業では、約84%の森林率を有する豊かな森林があり、恵まれた気候・風土を活かしてオクラやいちごなどの農産物を生産しています。なかでも、文旦・小夏・直七といった柑橘類は、全国有数の産地となっています。

また、早稲田大学建学の母と慕われる「小野梓」、小松製作所の創業者である「竹内明太郎」、近代ヒューマンイズムの先駆者「大江卓」など、明治以降の日本に大きな影響を与えた偉人を多く輩出した“文教のまち”でもあります。

人口減少等により、本市を取り巻く環境は、大きく変化しておりますが、誰もが安心して暮らせる、賑わいと活力に満ちたまちづくりに向けて引き続き取り組んで参ります。

最後になりましたが、皆さまにおかれましては、お身体にはくれぐれもご留意ください。豊かな自然と温かな人柄があふれる「宿毛市」で、皆さまにお会いできます日を、心待ちにしております。今後も変わらぬご支援、ご声援をお願い申し上げます。



宿毛市長

中平 昌宏